

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		森林資源活用推進事業		課名	林務課	事業No.	179
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H19	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		1	稼げ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
			21'いいだ環境プラン				
法令・例規等							
事業目的		対象	住宅建築主、住宅建設業者、住宅設計事務所				
		意図	地域産材を利用した住宅建築により、木材の自給率を高め、地域産材利用意欲の向上に繋がります				

2 事業内容

3年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対しての補助金交付を行うことにより、木材自給率を高めるとともに、地域産材利用の意識高揚を図りました。		住宅の新築・リフォームに対する補助				4,665				
			地域産材普及啓発				87				
		その他の経費				-85					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	飯田市産材を使って建てた住宅戸数	戸	15	21							
3年度 決算 (千円)	予算額		4,752		特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		4,667								
	財源の 状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		4,667									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	6	4,752	4,667	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		住宅を建てるには多額の費用がかかるため、使用する材は安価な外材や、流通量の多い他地域材の利用が多いのが現状であり、いかに市産材の利用を進めるかが課題です。令和3年度は前年度比で市産材利用量は伸長したものの、さらなる利用を進めるためには、飯田市産の木材利用や森林に対する理解を進める必要があります。取組の効果を検証し、市産材の地域循環につなげる展開が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		木材利用や森林に対する理解を進めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開し、市産材利用の拡大を図る必要があります。							
次年度に向けての取り組み		市産材の利用を促進するため、地域内外の工務店や設計事務所等へのPRを強化します。また将来的に新築やリフォームが見込まれる子育て世代へ市産材の良さや補助制度の周知を図り、市産材による建築を促すことにより、木材利用の拡大を図り、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。							